

第3回東京都議会議員調査 津田塾大学中條研究室

この度、津田塾大学総合政策学部・中條研究室の2年セミナー（12人）では、都議会議員の皆さまの議員としての活動の様子や社会に対するご意見をお伺いしたく、3回目の意識調査を実施することにいたしました。2018年・2019年の調査におきましては、お忙しいところ多くの方にご回答いただき、改めて感謝申し上げます。過去の研究成果は同封しましたリーフレットのほか、下記ウェブサイトに記載されております。

皆さまからのご回答は、すべて統計的に処理した上で研究にのみ利用し、皆さまのご氏名と回答内容がひも付けられて公表されることはございません。集計されたデータを用いた研究成果は、2020年度末に下記ウェブサイトにて公表予定です。ご多忙のところお手数をおかけしますこと大変恐縮に存じますが、**2020年10月30日（金）**までにご回答いただけましたら幸いです。調査へのご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

<https://sites.google.com/a/tsuda.ac.jp/mnakajo/SophomoreSeminar>
研究代表：津田塾大学総合政策学部 准教授 中條美和

回答方法は2通りございます。いずれかの方法でご回答ください。

- A. この調査票に直接回答を記入していただき、一緒にお送りしました返信用封筒に入れて郵送
- B. 右記QRコードを読み取る、もしくは下記URLにアクセスしていただき、ウェブサイト上で回答を入力
<https://forms.gle/8r6bdYK5WqAnmLvQ8>



差し支えなければお名前をご記入ください。

ご氏名： _____

質問はQ1～Q40まであります。この調査票に回答を直接ご記入ください。

I. 都政全般について

Q1 現在の東京都知事の仕事ぶりについて、「とてもよくやっている」を10点、「まったくやっていない」を0点とすると、あなたの評価は何点でしょうか。

_____点（0点～10点で記入）

Q2 現在、新型コロナウイルス感染症対策が最優先の状況にあります。感染拡大以前から議論されていた問題もあります。その中で、東京都が特に優先的に考えていくべき問題として、優先順位の高いものから3つお答えください。

- 1. ()
- 2. ()
- 3. ()

Q3 東京都は規模も大きく、様々な問題を抱え、各議員はそれぞれの専門分野をいかして解決にあたられています。あなたご自身は、特にどのような問題をご自分の専門として担当されていますか。関わりの深いものから3つお答えください。

- 1. ()
- 2. ()
- 3. ()

Q4 以下に挙げる課題の中で、あなたが普段から最も関心をもつ順に1から10の数字を振ってください。

- () オリ・パラ
- () 自死・自殺
- () 東京一極集中
- () ダイバーシティ
- () 労働環境
- () 児童虐待
- () 女性活躍
- () 教育
- () 防災
- () 殺処分

II. 「2020年に向けた実行プラン」関連について

Q5 現時点で、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う経済効果にどのくらい期待していますか？

- 1. とても期待している
- 2. やや期待している
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり期待していない
- 5. 全く期待していない

Q6 東京都は2016年に4か年実施計画である「都民ファーストでつくる『新しい東京』」を策定し、セーフシティ、ダイバーシティ、スマートシティの実現に向けた政策の強化を行ってきました。達成年度である現在、「2020年に向けた実行プラン」は達成できていると思いますか。0%から100%の割合でお答えください。

_____%

Q7 上記Q6で100%未満の方にお聞きします。2021年度までであれば、達成できると思われますか。下記より1つお選びください。

- 1. できると思う
- 2. 何らかのプロジェクトを取りやめなければいけないと思う
- 3. すべてのプロジェクトにおいて見直しが必要と思う

Q8 あなたは2021年に東京オリンピック・パラリンピックを開催すべきであると思われますか。

1. 2021年に当初計画通りに開催すべき
2. 2021年に規模を縮小して開催すべき
3. 2021年に開催するべきではない

Q9 東京都は「2020年に向けた実行プラン」の1つである動物の「殺処分ゼロ」を2018年度に達成したと発表しています。あなたはこれを評価しますか。「評価する」を10点、「評価しない」を0点として、あなたの評価は何点でしょうか。

_____点 (0点～10点で記入)

Q10 行政に引き取られた犬や猫の殺処分については様々な意見があります。あなたは以下のどの意見に近いでしょうか。1つお選びください。

- A. 衛生上・財政上の観点から殺処分はやむを得ないときもある。
- B. 治療の見込みがない病気や攻撃性がある等の理由を除き、殺処分は行うべきではない。
- C. 全ての個体において、殺処分は行うべきではない。

Q11 それではペットの店頭での販売について、どちらの意見に近いでしょうか。1つお選びください。

- A. ペット関連市場の成長・維持のために必要である
- B. ペットの店頭での販売は禁止すべきである

III. 新型コロナウイルス感染症対策について

Q12 総合的にみて、東京都の新型コロナウイルス感染症対策をどれくらい評価しますか。「評価する」を10点、「評価しない」を0点、「どちらともいえない」を5点として、0から10の間の数字でお答えください。

_____点 (0点～10点で記入)

Q13 それでは以下の項目についてはどのくらいの評価でしょうか。同じ尺度でお答えください。

東京都の感染拡大防止協力金 _____ 点
東京都の感染症対策サイト _____ 点
東京都知事の会見 _____ 点
東京都議会災害対策連絡調整本部の提言 _____ 点

Q14 新型コロナウイルス感染症対策に伴い、財政調整基金の残高が2019年度と比べ9割減と大幅に減少しています。緊急事態宣言前の水準に戻すにはどの程度の期間が必要だと思いませんか。年数でお答えください。

_____年

Q15 新型コロナウイルス感染症拡大により、リモートワークという働き方がある程度普及しまし

た。都議会議員としての活動においても、どのくらいリモートワークで対応できたでしょうか、最もあてはまる選択肢をお選びください。

1. ほとんどリモートワークで対応できた
2. ある程度はリモートワークで対応した
3. リモートワークで対応できた活動はごく一部である
4. リモートワークでは全く対応できない

Q16 それでは、一般に言われているリモートワークのメリットのうちで、都民にとってもっとも効果的であるメリットは何であるとお考えですか。下記より1つお選びください。

1. オフィスの運用コスト削減
2. 満員電車の改善
3. 育児や介護などと両立できる柔軟な労働時間
4. 資料のデジタル化促進
5. 離職率の改善
6. その他 ()

Q17 新型コロナウイルス感染症が拡大する以前から、あなたは日本に「9月入学」を導入することに賛成でしたか、反対でしたか。

1. 賛成 (部分的も含む)
2. わからない
3. 反対 (現状維持)

Q18 新型コロナウイルス感染症拡大は長期化しており、今後も一時休校による学習進度の遅れやオンライン授業による習熟度不足が長期化する可能性、部活や行事活動などによる教育における様々な文化的・社会的経験の機会減少という可能性があります。これらの問題に対して、どのような解決策が有効・必要とお考えでしょうか。あてはまるもの全てをお答えください。

1. オンライン授業・行事の拡充
2. 9月入学など、カリキュラム延期・再編成
3. ワクチンが開発されるまでは仕方がない
4. その他 ()

Q19 コロナ禍において災害が起きた場合、避難所での「密」を防ぐためには、これまでの各避難所の定員を制限する必要があります。避難所の定員制限への対策として、あなたは以下2つの策のどちらを行政として今後すすめるべきだと思われますか。「どちらもすすめるべき」という場合でも、強いて言えばどちらを優先するかお答えください。

- A. 避難所の定員を制限するぶん、避難所数を増やすべきである。
- B. 避難所への避難ではなく、在宅避難を推奨すべきである。

IV. 政治活動に関連する事柄について

Q20 内閣府やNHKによる世論調査では、回答者の半数以上の人々が、国や東京都の政治に国民・都民の意見が「反映されていない」と考えている

結果となっています。ご自身が都議会議員になられてから現在にかけて、全体的に見ると国民・都民の意見は国・都にどのくらい反映されているとお考えでしょうか。0%から100%の数字でお答えください。

国 _____% 都 _____%

Q21 上記理由をご自由にお書きください。

Q22 あなたご自身の有権者と関わる活動の全体量を10としたとき、オンラインでの活動（SNS、ホームページ、Zoomでのイベント等）に割く量とオフラインでの活動（地域の見回り、集会開催、活動参加等）に割く量の割合は、それぞれ何割くらいでしょうか。新型コロナウイルス感染症拡大前と今後の見込みの2つのケースごとにお答えください。

オンライン：オフライン

感染症拡大前 _____割： _____割
(配分の合計は10)

今後の見込み _____割： _____割
(配分の合計は10)

Q23 ご自身のSNSなどオンラインでの政治活動を通して、街中での反応やSNS上でのメッセージなどから、若者の政治・都政への関心は以前に比べてどれくらい高まったと感じておられますか？

1. とても高まった
2. どちらかといえば高まった
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば変わらない
5. 全く変わらない

Q24 あなたの選挙区において、その選挙区出身の議員であることは、有権者にとって重要であると感じることはありますか。

1. 常に感じる
2. 時々感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

Q25 あなたご自身は、現在の選挙区のご出身でしょうか。「出身」の定義はいろいろありますが、有権者に「選挙区の出身である」と説明されている場合は、「はい」をお選びください。

1. はい
2. いいえ
3. その他 ()

V. 都議会に関わる事柄について

Q26 現在の都議会において、性別による不公平が生じるような制度は存在しているとお考えでしょうか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 存在している
2. 存在していない

Q27 制度の問題に限らず都議会での様々な活動において、あなた自身が性別による不公平を感じたり、あるいは他の都議会議員が性別による不公平を感じているのを見聞きしたりしたことはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 自分自身が性別による不公平を感じたことがある
2. 他の都議会議員が性別による不公平を感じているのを見聞きしたことがある
3. いずれもない

Q28 上記で、性別による不公平を感じたり見聞きしたりしたことがあるとご回答の方にお尋ねします。どのような方から、性別による不公平感をおぼえましたか。(複数選択可)

1. 他の都議会議員
2. 行政職員
3. 都議会外の政治家
4. 政党職員や支持者
5. 一般市民
6. 家族・親戚
7. その他 ()

Q29 都議会の会派に関する次の意見AとBのうち、あなたの意見に近いのはどちらでしょうか。

- A. 会派同士の競争と対立によって、都議会に多元な意見が反映されるようになる。
- B. 会派同士の競争と対立は、都議会の運営に支障をきたし、都政の停滞や都職員の残業負担につながる。

VI. 国の政策や日本の問題について

Q30 以下にあげる国の政策について「賛成」もしくは「満足」を10点、「反対」もしくは「不満」を0点、「どちらでもない」を5点とし、0点から10点の数字でお答えください。

特別定額給付金 _____点
緊急事態宣言下の一斉休校要請 _____点
Go To キャンペーン _____点
ふるさと納税 _____点
東京23区の大学定員増禁止 _____点

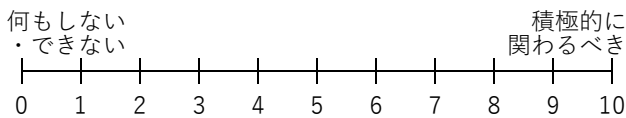
Q31 女性の活躍を推進する策については、多様な意見が存在します。下記2つの意見のうち、あなたはどちらの意見に近いでしょうか。1つお選びください。

- A. 指導的地位における女性の割合を設定し、女性を積極的に登用していくべきだ。
- B. 指導的地位では、性別にかかわらず、能力にもとづいて登用していくべきだ。

Q32 東京一極集中によるデメリットを是正するため、企業活動の拠点を地方に移行するべきという意見があります。この意見には賛成でしょうか、反対でしょうか。

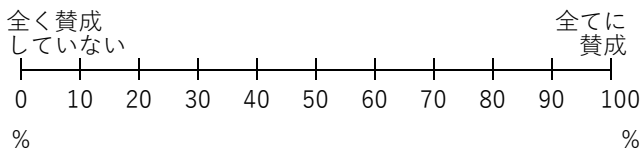
1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば反対
5. 反対

Q33 東京一極集中に伴う地方人口減少問題について、東京都はどこまで関わるべきでしょうか。「積極的に関わるべき」を10、「何もしない」「何もできない」を0としたとき、いくつになりますか。



VII. あなたの政治家としての立場について

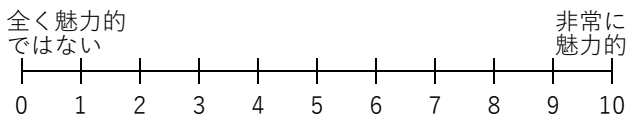
Q34 あなたは自分が所属する会派の考えに、どの程度賛成していますか。全く賛成していない場合を0%、全てに賛成している場合を100%としたときに何%か以下の図からあてはまる数字を1つお選びください。



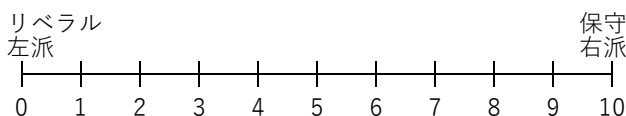
Q35 あなたは都議会議員を辞めたいと思ったことはありますか。

1. ある
2. ない

Q36 政治家としてのご自身のキャリアにおいて「東京都知事」という立場は魅力的なものだと思いますか、それとも魅力的ではないと思いますか。0（全く魅力的ではない）から10（非常に魅力的）の数字でお答えください。



Q37 異なる政治的立場を表すとき、「保守」と「リベラル」、あるいは「右派」と「左派」などと表現することがあります。もっとも右派・保守的な立場を10、もっとも左派・リベラルな立場を0とすると、あなたの政治的立場は、いくつになりますか。以下の図からあてはまる数字を1つお選びください。



VIII. 最後に統計的に処理するために必要な事項を少し伺わせてください。

Q38 あなたの性別をお選びください。

1. 男性
2. 女性
3. その他

Q39 あなたの年齢をお答えください。

_____歳

Q40 現在お住まいの地域に合計何年住んでおられますか。

_____年

質問は以上です。最後まで調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。この調査票を返信用の封筒にお入れいただき、そのまま投函くださいますようお願い申し上げます。なお、本調査についてのご意見、ご感想などがございましたら、以下にご自由にお書きください。調査へのご協力、重ねて御礼申し上げます。

津田塾大学総合政策学部
准教授 中條美和
2年セミナー学生一同

151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24
FAX: 03-6734-0780(直通)
Mail: mnakajo@tsuda.ac.jp



<https://sites.google.com/a/tsuda.ac.jp/mnakajo/SophomoreSeminar>
